には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム プリマホーム
日付	平成18年2月10日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>概評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>新しい管理者になってから、職員の意見をどんどん採用してくれるようになり、職員会議の中で前向きな発言が多くなりました。新しい試みもいろいろ発案企画されています。集団レクリエーションを止め、個別対応にしたことで、生活リハに重点を置けたり、調理や洗濯物の片付け、掃除を積極的にお願する事もでき、大きな変化を迎えています。</p> <p>経営者が毎朝の申し送りに参加することで、今のグループホームの状況や方向性をきちんとスタッフ間で把握できています。経営者が地域の世話役をしている関係もあり、地域とのつながりは大変良く出来ています。近くにある小学校や保育園にも良く出かけ、入居者は楽しみにしています。</p> <p>経営者の理解もあり勉強会や講演会などには積極的に参加し、2~3ヶ月ごとに外部から講師を招いて、グループホーム内で介護の基礎から勉強することで、活性化しています。</p> <p>入居者の突発的な事故防止を目指すことも大事なことで、総合病院で救命救急の資格を交替で取ったりすることで、自己研鑽し、施設の向きさに役立っています。</p>
<p>改善の余地があると思われる点 (記述式)</p> <p>集団のレクリエーションを止めて、個別対応にする事は良いことだと思います。入居者のニーズの把握を増やすことも必要ではないでしょうか。職員の数には限りがありますが、入居者との会話や家族からの聞き取りを中心とし、職員みんなが参加する過程も大切です。入居者の関わりからグループホームの原点を再度確認することで、さらに理想とありのプリマドンナが集まるより所になるよう期待しています。</p> <p>また、個人記録が行動の列挙になっています。利用者の生活感を記入したほうがさらに良いと思います。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 「プリマドンナが集うお家」「入居者が主役」をモットーにしています。困ったことがあれば職員がサポートします。出来ることは本人にしてみたい、見守り重視を心がけています。自分の家と思えるように声かけをし、部屋に入れる荷物もできるだけ使い慣れた家にあつたものにしてもらっています。終末期の対応も、提携医療機関と相談しながら体制を整えています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 入居者に自分のことは、自分でする姿勢にしています。共同生活にも参加してもらい、職員に介助されているのではなく、入居者と職員がいっしょに暮らしているような場づくりを心がけています。帰宅願望の強い入居者には家族にも協力を求めて、散歩やドライブと一緒にしています。また、最初の1週間は様子を見て、対応を職員全員で決めています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライトを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 自宅にいるように、自由に暮らしてもらうことを心がけているので、職員は入居者の行動やしぐさをよく観察して出来ない事だけを介助して、前向きに暮らせるように取り組んでいます。また、言葉のかけ方や言葉使い等にも配慮をしています。入居者の中には、うどん打ちをする人もいます。また俳句を詠んでいる人もいて、できた俳句などは居間の壁に飾っています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	入居者には時間がかかっても自分で出来ることはやってもらう方針にしています。職員は「待つ」ことを大切にして、見守り重視で介助をしっかりと行っています。ホームでの生活時間を有意義に過ごしてもらうため、生活リハビリティを重視しています。代表者の理解もあり、積極的に講演会や勉強会に参加しています。グループホーム内でも講師を招いて勉強会を開いています。		